

2007年7月27日

都城市市長 長峯 誠 殿

DOCOMOMO・Japan 代表 鈴木博之

「日本におけるモダン・ムーブメントの建築125選」に
貴 都城市民会館 リストアップのご報告

拝啓 時下ますますご清祥の御事とお慶び申し上げます。

さて、DOCOMOMO・Japan (DOCOMOMO の日本支部) では、このたび「日本のモダン・ムーブメント125選」をとりまとめました。これは DOCOMOMO (The Documentation and Conservation of buildings, sites and neighborhood of the Modern Movement) の略で、「ドコモモ」と読みます) という国際組織(「近代運動にかかわる建物・環境形成の記録調査および保存」のための組織)からの依頼によって1999年、各国のモダン・ムーブメントを象徴する現存例20件をリストアップし、2000年のDOCOMOMO総会で、そのリストとその解説のための刊行物を作成しました。2003年度にはさらに20選を100選に増やし、2005年度は15件、この度の選定建築物として10件の選定作業を行い125選と致しました。DOCOMOMOは、モダン・ムーブメントにも歴史的価値を見て、その継承を図るために1989年に設立され、ヨーロッパを中心に現在40以上の国が加盟しています。DOCOMOMO・Japanは(社)日本建築学会の建築歴史意匠委員会と「連携」して近代建築の保存のための活動をしています。

「モダン・ムーブメント」は20世紀の建築上の主要な潮流のひとつで、「18、19世紀に端を発する合理主義的・社会改革的な思想や技術革新をベースに、1920年代、30年代に西ヨーロッパで明確な形をとり、線や面の構成による美学にもとづいて、40年代から世界中でつくられはじめた建築」を意味します。日本では1920年代からその影響を受けたデザインが試みられています。

その「125選」のなかに、上記の貴建物を選ばせていただきました。選定理由は下記の基準に準拠しております。このことをご報告申し上げるとともに、当該建物(環境)の歴史的価値の維持にご配慮を賜りますようお願い申し上げます。なお、お気づきの点がございましたら、ご一報いただければ幸いです。

敬具

- a. 装飾を用いるのではなく、線や面の構成による美学が適用されている。
- b. 技術の成果がデザインに反映されている。
- c. 社会改革的思想が見られる。
- d. 環境形成(広場や建築群の構成)という観点でデザインされている。